



綾瀬中学校だより 第1号

- 学校教育目標
- ・学びを生かす人
 - ・共に生きる人
 - ・健やかな人

綾瀬市立綾瀬中学校
校長 上山 智也
令和7年4月発行

花の色が美しい季節となりました。本日午前中に着任式、始業式を行いました。午後の入学式では、173名の新入生を迎え、上級生とともに新しい一年をスタートします。

入学式での校長先生の話

新1年生の皆さん、ご入学おめでとうございます。
今日の入学式から新入生173名が加わり、2学年179名、3学年212名、全校生徒564名、そして、皆さんを応援していく綾瀬中学校の職員総勢64名で今年度の綾瀬中学校がスタートします。入学式で話した内容の概略を紹介させていただきます。

ある大学の授業で実際に行われた壺（ツボ）の話です。大学の先生が「クイズの時間です。」と言って大きな壺を教壇の上に置きました。そして大きな石を取り出して、一つ一つ壺の中に入れていき、入らなくなるまで入れていきました。先生は「この壺は満杯ですか。」と学生に聞きました。教室にいた学生は「満杯です。」と答えました。「本当かい。」と言いながら、教壇の下からバケツに入った砂利や砂を取り出して壺の中に入れていきました。そして、もう一度学生に「満杯ですか。」と聞きました。学生はさすがにもう入らないと思い「満杯です。」と答えました。先生はニヤリと笑いながら教壇の下から今度は水差しを取り出し、壺の縁まで水を並々と注ぎました。

先生は学生に質問を投げかけます。「私が何を言いたかったのかわかりますか。」一人の学生が手をあげて答えました。「どんなにスケジュールが厳しい時でも努力すれば予定を詰め込むことができるということですか。」間髪を入れずに先生は答えました。「それは違う。この例が私たちに示してくれている真実は、大きな石を先に入れない限り、それが入る余地はその後どこにも無いということだ。砂利や砂を先に入れてしまうと大きな石は入らなくなる。」先生は続けて、「君たちの人生にとって大きな石とは何でしょう。」「それは家族だったり、愛する人だったり、自分の夢だったり、志だったり。ここで言う大きな石とは君たちにとって一番大切なもののことだ。それを一番はじめに壺の中に入れなさい。さもないと君たちはそれを失うことになる。もし君たちが小さな砂利や砂など、自分にとって重要性の低いものから自分の壺を満たしてしまえば、君たちの人生は重要でない物で満たされることになる。そして大きな石、つまり自分にとって一番大切なものに割く時間が無くなってしまい、その結果、大切なものを失ってしまう。」

もし、この壺があなたの人生の岐路だとしたら、あなたはこの中に何を入れますか。と言ったお話です。
皆さんにとって大きい石とは何にあたりますか。また、砂利や砂など、重要性の低いことから優先的に時間を使ってしまっていたということはありませんか。中学校の3年間という時間は限られた時間です。その限られた時間をより効果的に活用するために、綾瀬中学校の学校教育目標である「**学びを生かす人**」「**共に生きる人**」「**健やかな人**」がどんな姿を指し示しているのか、生徒の皆さん一人ひとりが自分事として考え、判断し、行動していきましょう。

令和7年度の学校グランドデザインの冒頭にこんな言葉が入っています。
「誰かの答えじゃない。自分の答えを出せ！～笑顔と対話を大切に～」
皆さんが「大きい石」、つまり自分で大切にしていることや幸せに必要なことをよく考え、優先順位をつけて行動し、そして、自分の真の「大きい石＝一番大切なもの」を見つけて欲しいと思います。

保護者の皆様へ
お子様のご入学、誠におめでとうございます。本日より、皆様の大切なかけがえのないお子様を綾瀬中学校の生徒としてお預かりいたします。私たち教職員一同、成長に必要なサポートを全力で提供していきたくと思っています。中学校の3年間は、学力をつけることはもちろんのことですが、人間として、自分の在り方や生き方を考える心の教育にも力を入れて参ります。
しかしながら、教育は学校だけでできるものではありません。家庭と地域と学校が、それぞれの役割を自覚しつつ、手を取り合ってこそ、しっかりとした教育が可能になると考えております。
お子様の成長をともに確かめ合いながら進んで参りたいと思っています。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

着任者紹介

10名の新しい教職員が着任しましたのでご紹介いたします。

相馬 寛之	教諭	理科担当	藤沢市立善行中学校より転任
紫竹 佑介	教諭	数学科担当	新採用
川名 千遥	教諭	英語科担当	新採用
加納 良英	教諭	音楽科担当	川崎市立宮内中学校より転任
末木 将太郎	教諭	国語科担当	新採用
堀江 翔太	教諭	保健体育科担当	新採用
亀田 麻衣子	教諭	英語科担当	綾北中学校より転任
小澤 莉加	さん	介助員	綾北小学校より転任
山内 めぐみ	さん	介助員	綾西小学校より転任
後藤 沙希	さん	スクールカウンセラー	大和市立南林間中学校より転任



離任者紹介

これまで本校の教育のためにご尽力いただきました11名の先生や職員が、3月31日に離任されました。離任式は、昨年度末3月25日、修了式の日に行いました。

山田 美峰子	教諭	春日台中学校へ	廣瀬 幸貴	教諭	城山中学校へ
坂井 めぐみ	教諭	城山中学校へ	山下 雄輝	教諭	綾北中学校へ
山口 芳美	教諭	天台小学校へ	鈴木 八重	教諭	綾北中学校へ
菅 亮太	教諭	海老名市立有鹿小学校へ	古川 登	学習支援者	退職
瀬筒 拓磨	教諭	綾南小学校へ	内海 美智子	スクールカウンセラー	平塚市へ
高橋 美也	教諭	海老名市立有鹿小学校（本） 中新田小学校（兼）へ			



生活のテーマについて

1年生は中学生として、2年生は先輩として、3年生は最高学年として、新学期のスタートをきりました。これから「1年」という時間をかけてめざすのは自分自身の「成長」です。「自分はこんなことを頑張ることができるようになった。」「なりたい自分に近づけた。」と感じられるよう、みんなで励まし合い、支え合っていきましょう。

そこで、生徒のみなさんが「何となく」ではなく、目標をもって生活できるよう、月ごとの生活のテーマを設定してみました。4月のテーマは、次のようになります。

「新しい出発」
～新鮮な気持ちでスタートしよう～

このテーマに沿った行動の中で、「特にこれをみんなで協力して頑張ってみよう！」というものを、「今月のスクラム」（※スクラム：ラグビー用語。「一致団結」「全員が一丸となる」という例えで用いることがある。）として実践してみましょう。「今月のスクラム」は、「あいさつ」です。すれ違うときに、「おはよう」「こんにちは」「さようなら」と言葉をかけてもらえると、なんだかうれしい気持ちになります。

お互い気持ちの良いあいさつができるようになり、成長した自分を実感しましょう。

今月のスクラム



お便りの配信について

今年度も学校からの便り（学校だより、学年だより等）は「C 4 t h H o m e & S c h o o l」で配信します。本日、登録用のQRコードを配付しましたのでご家庭での作業をお願いします。「C 4 t h H o m e & S c h o o l」の登録方法についてご不明な点があれば、綾瀬中学校教頭吉野までご連絡ください。

部活動の予定表、連絡等は「スクリレアプリ」で配信となります。スクリレアプリの登録、年次更新作業についてのお知らせは各部活動顧問より配付となります。

また、「スクリレアプリ」を導入している部活動のみの配信となりますのでご注意ください。